

8回目となるタイ拠点におけるマングローブ植樹活動を実施

ナブテスコ株式会社(本社:東京都千代田区、社長:木村和正)は、タイの子会社である Nabtesco Power Control (Thailand) Co., Ltd.、Nabtesco Automotive Products (Thailand) Co., Ltd.、Nabtesco Service Southeast Asia Co., Ltd.の3社と共に、バンコクの Bang Poo Nature Education Center の干潟にて、マングローブの苗木の植樹を9月に実施しました。

マングローブは、海水と淡水が混じり合う汽水域に生息する植物の総称で、地球温暖化防止・生態系の維持回復だけでなく、水質を浄化する効果も期待されています。

本活動は2013年から開始し、本年は8回目の開催となり、在タイ子会社から約200人の社員が参加しました。本年は約1,000本の植樹を実施し、これまでに植樹した苗木の累計は6,870本となりました。ナブテスコグループは、今後も様々な取り組みを通じて、地球環境保護とCO₂削減(GHG削減)に貢献してまいります。

以上

